

輝け！シン尾花沢中

第197号

令和8年

3月5日

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

「ありがとう」が何よりの喜び～保育園ボランティア②～

今号も、2月24日（火）の保育園ボランティアに参加した生徒の感想を紹介します。今号は、ひまわり保育園です。

永沢 由佳さん（1年）：初めてボランティアに参加して、達成感や満足感で胸がいっぱいになりました。いつもは同世代の人たちとしかかかわる経験がないけれど、園児とのかかわりあいを通して、今までとは異なる視点や発想を得ることができました。保育士の仕事についてあまり興味をもちていませんでしたが、今日の経験を通して将来への視野が大きく広がったのでもっとたくさんの職やボランティアに参加していきたい。

樋渡 結衣さん（1年）：普段かかわることのできない保育園児とかかわることができて貴重な経験になりました。子供たちはすごく元気で一緒に遊んでいるとたくさんの元気をもらえました。そして、保育園のおもちゃを消毒しました。おもちゃの数はとても多くて大変でした。話によると、保育士さんが土曜日に手作業で消毒しているそうです。すごく大変ではありますが、保育士も視野に入れて将来の夢を決めたいです。

菅野 來怜歩さん（1年）：ボランティアを通して、人とコミュニケーションをとるということは簡単ではないことを実感しました。今後生きていくうえで、社会に出ていろいろな人とコミュニケーションをとり、自分から話しかけるよう心がけていきたいです。

石川 穂乃香さん（3年）：ボランティアをして子供とかかわることは改めて「楽しい」と思いました。遊びでは、子供たちと話しながらブロックや虫のおもちゃで遊んで楽しかったです。幼児がなめてしまったものをきれいに消毒する作業も楽しかったです。また、知っている先生が数名いるので少し話すこともできました。今後は、子供とかかわるときは、今回のボランティアで学んだことを生かしたいと思いました。

遠藤 光華さん（3年）：ボランティアを通して子供と触れ合う楽しさや安全管理の重要性を学ぶことができてとても楽しかったです。ますます保育士になりたい気持ちが強くなりました。

西尾 滯音さん（3年）：園児の明るさに元気をもらいました。おもちゃを消毒する仕事を体験し、一つひとつついでに拭くことで、園児が口に入れても大丈夫なようにするという保育士さんの大変さを理解できました。自分もそういうことをしてもらっていたことへ改めて感謝しました。将来、子供ができたときに同じことをしてあげたいです。

穏やかで優しい表情をみせた尾中生。園児に活力をいただいたひとときでした。

ご協力いただきました保育園の先生方、ありがとうございます。【文責：校長 工藤雅史】

